

令和3年度 事務事業評価シート

施策	211 職・住・学・遊が調和したまちづくりを計画的に進める	部内優先順位			
事業名	大学のあるまちづくりの推進	1			
目的	旧西吾孺小学校及び旧曳舟中学校跡地(以下「学校跡地」)及び旧すみだ中小企業センターに大学を誘致することにより、若者の流れを呼び込み、地域経済の活性化や地域の賑わいを創出する。さらに、まちとキャンパスが溶け込み、職・住・学・遊が調和したまちづくりを進める。	主管課・係(担当)			
		行政経営担当 713			
対象者	全区民	施策番号			
根拠法令 関連計画	なし	事業番号			
実施基準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	2名
事業内容	<p>1 大学のあるまちづくりの推進</p> <p>(1) 千葉大学墨田サテライトキャンパス開設に向けた準備</p> <p>(2) 千葉大学・情報経営イノベーション専門職大学との事業連携に係る調整</p> <p>(3) アーバンデザインセンター(UDC)すみだの設立に向けた検討</p> <p>(4) 文花地区未来ビジョン策定に向けた検討</p> <p>2 大学整備用地全体の調整</p> <p>(1) キャンパスコモン・あずま百樹園の基本設計に係る調整</p> <p>3 千葉大学関係事務</p> <p>(1) 土地・建物賃貸借契約に係る各種事務(大学との調整)</p>				
経過	開始年度	平成20年度～	終了予定	未定	
	<p>平成20年:第4回定例会(企画総務委員会)において、「4年制の総合大学」を誘致することを正式に表明</p> <p>平成23年:学校跡地に対する大学誘致の公募を実施 「該当校なし」との結果</p> <p>平成24年～:関東近郊の大学に対し、進出意向のアンケートを実施</p> <p>平成29年3月:国立大学法人千葉大学と「包括的連携に関する協定」を締結</p> <p>平成29年12月:学校法人電子学園と「包括的連携に関する協定」を締結</p> <p>平成30年～:「旧すみだ中小企業センター改修基本・実施・解体設計」の実施</p> <p>令和2年4月:学校跡地北側に「iU情報経営イノベーション専門職大学」が開学</p> <p>令和3年7月:令和2年度官民連携都市再生推進事業に採択</p> <p>令和3年3月:墨田区、国立大学法人千葉大学、学校法人電子学園と「包括的連携に関する三者協定」を締結</p> <p>令和3年4月:旧すみだ中小企業センター敷地に「千葉大学墨田サテライトキャンパス」が開設。公民学連携組織「アーバンデザインセンター(UDC)すみだ」の設立。令和3年度官民連携都市再生推進事業に採択。</p> <p>令和3年5月:東京都エリアリノベーション推進支援事業に採択</p>				
議会質問の状況	<p>平成31年3月(企画総務委員会)</p> <p>(沖山委員):今後、どのように大学との連携、つながりを進めていくのか。</p> <p>(山本区長):大学に絡んだ地域の事業者も視野に入れて、両大学にも地域との仕事について、いろいろな形で対応してもらえるように依頼をしていく。</p> <p>令和2年3月(企画総務委員会)</p> <p>(福田委員):iUには芝生広場があるが、ここは地域に開放してくれるのか。新しい隅田公園のようにファミリーでも集えるような気軽に入れる場なのか。</p> <p>(郡司参事):令和2年4月以降は地域に開放していくと聞いている。周辺には塀がなく、誰でも自由に入れるのがコンセプトであり、公園のように気軽に使えようになるが、学校施設ではあるため、今後ルール作りが必要になる。エリア全体として憩いの場として活用できるエリアにしたい。</p> <p>令和3年3月(企画総務委員会)</p> <p>(しもむら議員):コロナ禍において、iUはオンラインでの授業を行っているとのことだが、千葉大学の動きはどうなっているのか。</p> <p>(郡司参事):千葉大学もオンライン授業が中心だと聞いている。ただ、このサテライトキャンパスのコンセプトは生活の全てをシミュレートするというものであることから、フィールドワークや工作機器を使用した実習など、対面とオンラインとをバランスよく配置するような形だとも聞いており、墨田キャンパスも徐々に活用されていく。</p>				
その他特記事項	<p>(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等)</p> <p>他区の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地方大学振興法(23区の大学の定員増を10年間抑制等)の成立(H30.6月公布) ・専門職大学については、R.6.3月までは経過措置として23区内に設置可能 <p>年間スケジュール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報経営イノベーション専門職大学:R.4.4月「すみだメディアラボ(仮称)」開設予定 <p>関連部署</p> <ul style="list-style-type: none"> ・営繕課(大規模改修工事の施工に係る執行委任) ・都市整備課(キャンパスコモン・あずま百樹園の基本設計) 				

予算・決算額推移(千円)		28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
予算現額(事業費)		117,278	439,989	54,129	976,668	384,427	64,086
A.決算額(令和3年度は見込み)		109,036	437,851	15,026	926,325	298,243	63,957
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		109,036	437,851	15,026	926,325	298,243	63,957
執行率(%)		93.0%	99.5%	27.8%	94.8%	77.6%	99.8%
B.人コスト				11,812	11,359	11,469	
総事業決算額(A+B)		109,036	437,851	26,838	937,684	309,712	

主な事業費用の説明

- ・未来ビジョン策定に係る地域課題等調査業務委託
- ・UDCすみだ概要パンフレット作成業務委託
- ・キャンパスコモン整備基本設計委託
- ・旧すみだ中小企業センター大規模改修工事

予算書P(令和3年度)

P82,86

執行実績報告書P(令和2年度)

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	大学誘致用地における大学等の設置施設数				単位	棟
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
			R7	目標	1	2	3	3
				実績	0	0	0	0
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
			目標	3	3	3	3	3
		実績	1	2				
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	国立大学法人千葉大学と情報経営イノベーション専門職大学のほか、将来活用用地(旧西吾嬬小学校跡地)に更なる施設の誘致を想定しているため、活動指標とした。							
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	区・地域と大学の連携活動数				単位	件
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1	
20		R7	目標	-	1	3	5	
			実績	0	6	7	46	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
		目標	15	20	25	30	35	
	実績	27						
指標の選定理由及び目標値の理由								
地域経済の活性化や地域の賑わいを創出するためには両大学が区内で活発な連携活動が行われていることが不可欠であるため、大学による区内での連携活動数を成果指標とする。								

評価結果

評価についての説明・今後の方向性等

改善・見直しのうえ継続

区の課題解決に向けて千葉大学、情報経営イノベーション専門職大学の知見を活用するとともに、区や地域を巻き込んだ公民学の連携をより一層充実させ、大学のあるまちづくりを推進する必要がある。

課題・問題点

- ・大学整備用地に関する区議会・地域住民への説明
- ・千葉大学、情報経営イノベーション専門職大学との事業連携に関する調整
- ・アーバンデザインセンター(UDC)すみだの運営
- ・大学のあるまちづくり事業に関する啓発